

建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況(21)

～平成26年発生の足場板に関する死傷災害～

一般社団法人 仮設工業会 事務局

はじめに

本会においては、会報「仮設機材マンスリー」の平成25年10月号から、下記のとおり建設業における仮設機材に起因する死傷災害発生状況を掲載しています。

- (1) 平成25年10月号・災害の概要
- (2) 平成26年 1月号・平成22年・機材センター
- (3) 平成26年 2月号・平成22年・脚立
- (4) 平成26年 3月号・平成22年・梯子
- (5) 平成26年 4月号・平成22年・つり足場
- (6) 平成26年 5月号・平成22年・移動式足場
- (7) 平成26年 7月号・平成24年・死亡災害
- (8) 平成26年10月号・平成23年・機材センター
- (9) 平成26年12月号・平成23年・枠組足場
- (10) 平成27年 1月号・平成23年・移動式足場
- (11) 平成27年 2月号・平成23年・支保工
- (12) 平成27年 3月号・平成23年・アルミニウム合金製可搬式作業台・高所作業台
- (13) 平成27年 9月号・平成25年・死亡災害

- (14) 平成27年11月号・平成24年・機材センター
- (15) 平成28年 4月号・平成24年・枠組足場
- (16) 平成28年 5月号・平成26年・死亡災害
- (17) 平成28年 9月号・平成25年・機材センター
- (18) 平成28年10月号・平成25年・各種足場
- (19) 平成29年10月号・平成26年・機材センター
- (20) 平成29年11月号・平成26年・各種足場

今回の負傷災害発生状況は、平成26年における足場板に関係すると考えられる死傷災害を、厚生労働省のデータベース（職場のあんぜんサイト）から抜き出し、仮設工業会事務局において起因物等別に取りまとめたものです。厚生労働省のデータベースは、休業4日以上全事例のうち、災害発生時、作業内容等毎に、およそ1/4を無作為に抽出したのになっています。本災害発生事例を参考にして、仮設機材に関する同種災害の再発防止や教育等にお取組みください。

1 足場板が折れた事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	3階建ての現場にて、階段吹き抜け部に足場材を渡し1階～2階、2階～3階にボードを揚げる作業中、2階足場板上で3階にボード（12.5、3×8 2枚）を揚げた際、足場材として使用していた板（2×10材）が割れ、1階床まで落下し、足・腰を強打及び揚げていたボードが左ふくらはぎに落下した。
2	ALC板工事の外壁3階壁にて、ALC板上部取付金物を溶接作業中、作業床の足場板が折れた為、約3mの高さより3階スラブ床に墜落し、背中を強打し背骨を骨折した。
3	アパート新築工事において、足場板上に乗り、擁壁天端の押えを行っていたところ、足場板が割れ、高さ1.5m下のアスファルトに足から落下した。
4	強風のため作業に入れない現場の足場の安全確認のために行き、枠組足場1段目約1.8mに上がり足場の状態を確認のため歩行中、厚さ約3cm木製の足場板を上ったところ足場板が腐食しており左足を乗せた際、足場板が折れ落下し筋交いに左胸部から腹部をぶつけ地上に落下負傷した者。事故発生後、下請業者に調査依頼したところ、鋼製（純正）の足場板が足りなかったため、持参していた木製の足場板を仮に使用していた者。負傷後、車を運転し会社に戻り、会社で病院へ連れて行った者。なお、ヘルメット及び安全靴は着用していた。
5	作業用通路として使用していた銅足場板（W=250、L=3000）に、3人同時に乗ったために足場板が折れ、作業員3人が地下ピットに転落して右足大腿骨骨折した。

6	新築工事にて2階ベランダの木組立作業中に木材の足場板を2列に並べて使用、その足場板の2本のうち1本が折れてバランスを崩して約3.2m下の地面に落下し、臀部から落ちた後頭部等を負傷した。
7	増築工事現場に於いて建前作業中、足場の上を移動している際、足場板が重みで折れ、地面に落下。左膝を強打し骨折する。
8	足場組立工事において、2層目足場板に乗り火打ちを取りに行こうとしたところ、足場板のツメがちぎれて板が傾いたため身体のバランスを崩し4～5mの高さから地面に転落。腰部を打って負傷する。

2 足場板の結束不備の事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	7階の染剛型枠解体作業をする為に、高さ約1.8mの位置に単管をクランプ止めをして足場板を敷き潰した。足場板の上で解体作業中に、足場板を結束していたが結束が甘く、足場板が滑ってずれて、足場から床に落下して負傷した。
2	LPG球形タンクの内面において、補修作業専用足場（ロータリーデッキ）組立中に4段目を組み立てるためにステージに登って安全帯を掛けようとした時、足場板1枚が外れ足場板と共に1.8m下の2段目に転落し、胸を強打。右肋骨骨折で入院療養。
3	コンクリート補修のため足場と脚立2台に足場板を渡して左官工事を行っていた。足場板に足を置いたところ板が持ち上がり、足を踏み外して脚立の上から転落した。
4	階段室にて壁クロス貼り作業をしている時、脚立をはしご状に開き壁に立て掛け、はしごと窓枠上に足場板を渡した上に立った状態で、窓枠に掛けていた足場板が外れ、足場板上から階段に転落した。
5	外部シャッターの取り付け作業中、足場上の鋼製足場板を支持していたパイプが外れ床面に滑り落ちた。直接的な落下は免れたが、1階開口部の縁に左脇部を強打した。ヘルメットと安全帯は着用していた。
6	宿泊施設新築工事の現場で、高さ2mの足場の上で塗装用の養生をはずす作業をしていて、ドアの開閉の為に足場板が1枚外れていたのに気がつかず、足を踏み外してコンクリート部分に落下してしまった。
7	小学校体育館天井解体の為に足場を組立作業中、枠組足場6段目から足場板4mが天秤状態になり、バランスを崩し約10m下の床へ転落、左大腿骨開放骨折、腰椎圧迫骨折した。
8	水槽内部清掃作業にて、足場板の結束を忘れ作業したため、足場板がずれ、約1.5m下に落下、右足かかとを骨折した。
9	足場板の支点よりはみ出たところに乗ってしまい、落下して負傷した。
10	足場板を支持していた単管のキャッチクランプが外れて、足場板を共に落下した。
11	駐車場兼津波避難施設の建築現場において、北側外溝作業中に外部足場から2階屋根へ渡るための木製足場板（L＝2m厚さ3cm）が結束不足の為落下。1階で作業していた被災者に当たり負傷した。
12	電磁石機械室で盤にケーブルを取り込むためのケーブルラックの横引き作業を行っていた。その際、足場板を配管架台のH鋼に渡していたが、固定をしていなかったため、足場板がずれて足を踏み外し高さ約3.5mから転落して床の設備配管に右太腿部を打ちつけて被災した。
13	板打ち施工中、仮置きしていた足場板の端に足を乗せてしまい、傾いた足場板より滑り落ち、腰袋に掛けていた釘向きの道具の先端が背中中の腰あたりに刺さり負傷した。

14	梁内のアンボンドPC鋼線電線作業において、施行のチェックを梁側方の足場板上で行っていた。休憩で詰所に戻るため、足場板上から棚足場上に降りようとした際（高さ約90cm）、足場板が動きバランスを崩し、棚足場上へ転倒し、左手を棚足場上について負傷したものの。
15	一階屋根の角棟巻替工事で、屋根端に掛けた足場板に乗ったところ、足場金具を掛けていた瓦が外れ、足場板もろとも落下し、その際大手堀にもあたり頭、背中等を負傷した。

3 足場板の使用中の事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	コンクリートの打設状況の写真撮りのため、箱尺とカメラを持って足場板を渡っている際、バランスを崩し1m下に落下し、左関節内踝を骨折した。
2	スレート屋根塗り替え工事現場で、屋根の錆止め塗装作業中、足場板と安全帯の設置が不十分だったため、スレート屋根を破り転落した。
3	タービン建屋の基礎コンクリート打設の際、足場板上でパイブレーター作業の手元としてコードを支持していたが、パイプ持ちの作業員がパイプを引っ張った時、引っ張られてビット内に足から落ち、左踵にひびが入った。コンクリート打設用の足場はあったが、安全帯を使用するための親綱などがなかったことが原因と考えられる。
4	つり足場にてサンドブラストによる塗膜剥離作業を行っていた際、サンドブラストの反力でバランスが崩れ、足場板を踏み外し、高さ約1.5mの中段足場より転落、胸部を打撲した。
5	パイプで作った屋根が雪の重みで弛み、脚立と脚立に足場板を渡してクランプのゆるみを確認中に滑って落ちた。
6	ベランダ工事の際に床板を外して根太の上に足場板を敷いて作業中、足場板より足を踏み外しバランスを崩した際に、窓に倒れ掛かり右ひじがガラスを突き破り負傷した。
7	ボイラー火炉内部の足場解体作業中、11段目を解体し、10段目の板を外して上下で手渡しで資材荷降ろししている時、炉底からのストップの掛け声が上段の7段目から8段目にいた作業者の所で「合図応答伝達」が途切れ、下段の作業員が資材を受け取ったと思い込み資材を送りだして手を離れた所、長さ4m（重さ25kg）の足場板が落下（7～8m）し、3段目にいた作業者の背中に当たり被災した。
8	マンション大規模改修工事において、6階吹抜部分の防水工事中、足場板の間15cm程の隙間に足首を落としこみ負傷した。
9	横桁架設作業時に、底面足場板上から0.9m上にある下フランジ横面に上がろうとした際、足を滑らせ吊足場上に落下した。その後、落下の衝撃によりネット結束部が外れ、さらに約15m下の路面に墜落した。
10	屋根工事の既存スレート撤去作業中に、母屋に足場板を敷設し、足場板上からスレート屋根を足で割ろうとした際、下地の母屋剤腐蝕のため、スレート及び母屋材と共に落下し、脊椎横突起を骨折した。
11	外部足場昇降階段で材料（野縁）を探している際、階段の一段目が既製ではなく足場板で組立てであったため、GLから一段目と一段目から二段目の高さが違っており、急ぎ駆け足で階段を上った際、踏板先端に右すね部分を強打した。
12	外壁下地材の釘の利きを確実なものにするために足場板の1段目に立って増し打ちの最中に足を踏み外し左肩より転倒し受傷した。

13	外壁塗装工事に於いて足場を解体している際、住宅と工場が隣接している部分があり工場の屋根にあがり足場を解体していた。工場の屋根が古くスレート葺きであった為、屋根の梁等に合わせ木製の足場板を置き木製の足場以外のところは歩かないよう徹底していたが、解体した足場材を持って木製足場の上を歩いた時よろけ、木製足場のないスレート屋根に足を踏み込んでしまった。その際屋根に穴が開き下のコンクリート地面まで落下した。(高さ約4m)
14	外壁塗装等工事の足場解体作業時、足場4層目の作業員が3層目の作業員へ足場板を渡す際に、3層目の作業員が足場板を受け取る前に4層目作業員が手を滑らせたため、1層目にて前の部材を置き、元受取り位置に戻る途中の被災者が落下足場板に当り負傷した。
15	軌道工事者他4名は橋梁で橋まくら木交換用の足場仮設工事に従事していた。足場板を水平にするために吊り金具に通したチェーンを調整中、吊り金具のリンク部分が外れ体勢を崩して18m下の川に転落した。
16	橋の耐震補強工事にて、橋脚周りに設置された足場上の2段目でブラスト作業中、足場板が落下し、背中に当たり胸椎を骨折した。
17	建設の納品現場で建設資材のケイカル版3枚を両腕で抱えて段差20cmの納品口に欠けられていた足場板の上を搬送していたところ、足場板から落下した。資材を守ろうと無理な体勢で落下したため右足首を骨折した。
18	建築検査現場において、基礎の配筋検査実施中に設置されていた移動用の足場板を渡っている時に足を踏み外し、約1mの高さから落ち、右肩、右腰部を強打し負傷した。
19	現地調査用の鋼製足場板(W250×L4000、14kg)足場板を結束時に誤って転落し、システム天井を破り落下した。
20	誤って足場板の端の部分で踏んでしまい、バランスを崩して落ちそうになったために、咄嗟にそばにあった小さな作業台への転落を避けようと、1.5m程身をかわして地面に着地した。その際右足踵を強打したために終業後に受診したところ、骨折の診断を受けた。
21	私邸の窓枠サッシ取替工事現場において、脚立を2台建て足場板を掛け、足場上で作業中バランスを崩し足を踏み外し地面に転落した際、右手首を骨折した。
22	自社で製造した排気ダクトの販売にともなう組立作業中に、スレート屋根に足場板を置いてその上を移動中、踏み外し転落、打撲した。
23	自宅で建材の荷上中、テラス屋根(タキロン屋根)に足場板を敷き、2名で作業中、よろけて踏み外し、テラス屋根より落下した。
24	車庫兼作業場新築工事において、高さ3m位の平屋軸組上にスチール製足場板を敷き詰めて安全確保中に誤って足を滑らせ転倒してしまい、地面に落ちた。左胸を強打し左耳も負傷した。
25	住宅改修工事現場で作業終了時に脚立に渡した足場を解体撤去中、足場板を引き抜いた時、一方が跳ね上がり脚立の踏板の裏側と足場板の矢板との間に右親指を挟み負傷した。
26	小学校本館校舎大規模修繕工事において、足場解体作業中、6段目の階段部分(地上約10メートル)のアンチ(鋼製足場板)を解体したがそれを失念し歩こうとしたため、その場所から転落した。安全帯はしていたものの何らかの原因で外れてしまい、また支柱につかまったものの耐えられず地面に転落し負傷した。
27	照明器具更新工事で機械と機械の間に設けた足場板の上に乗る蛍光灯の撤去作業中、足場板及作業靴裏に現場の切削油が付着していたため滑り、足場板より転落し右手首を骨折した。
28	新築工事現場において1階部分屋根の骨組みが終わり、足場板を敷くため桁の上にいる時、足を踏み外し1階土間コンクリートの上に落ちた(1階までの高さは3m50cm)。その際両腕・膝・顔面等を負傷した。

29	新築工事現場にて鉄骨工業者が作業内容を確認する為、2段目の足場に乗って移動した際、はね出しの足場板端部に乗ってしまい、地面に落下し左足大腿骨頸部骨折を負った。
30	深夜0:00頃、棟内にある貯湯槽室へ凍結防止作業を行うため、ホームからの排水用沈殿槽に架けてあるアルミ製(幅220mm×2枚)の足場板を渡る際、足を踏み外し沈殿槽に落ち転倒、コンクリートの机に左胸を強打する。
31	足場の解体作業中、足場板のところで急にめまいがしてふらついてしまい、頭から落ちてしまうかもしれないと思ったので、2m位ある高さの所から飛び降りたら足を骨折した。
32	造船工場にて、足場板にワイヤーをかけ、2台チェンブロック(0.5t)にて150AエアーカントにL=1200のパイプと短管を取り付けチェンブロックに立てようと、エアーカントの下部にチェンブロックをかけ巻いていた際、L=1200のパイプが外板にあたり、そのはずみでエアーカントが回り短管のフランジが右足甲に当たり負傷した。
33	足場板の上で、解体作業中に足場板にハンマーカッターの刃がささっており、それが足に刺さって体の中で折れて破片が残った。
34	堆肥舎の屋根張替工事を開始するにあたり、準備のため屋根上に足場板を設置しようとしたところ、屋根に上がって間もなく足を滑らせ既存の屋根を破り垂木と垂木の間から5m程度下の堆肥舎内へ転落した。その際、右足太腿・踵等を負傷した。
35	団地2階のベランダバルコニーに足場板をかけて作業をしていたところ、バランスを崩し足場板から落下した。
36	地上1m位に設置された足場板から吊り下がったビニールシートをめくり上げくぐるようとしたところ、足場板に頭をぶつけてしまった。ヘルメットは着用していたが手足にしびれと痛みを生じ足が10分程度動かない状態になった。しばらくして足が動くようになってから病院へ行った。
37	塗装工事現場で、足場板に乗って外壁のゴミを取り除く為、高圧洗浄の作業をしている際、足場を踏み外し、地面に落下して背中を強打した。
38	反応タンク内中間梁アンカー打設補助作業終了後、荷物を槽上に上げようとして、足場板を設置していない3段目の建柱に乗り、足を滑らせ約5.3m下に墜落した。
39	被災労働者は、水産加工工場の一部解体工事に従事していた。当日は本屋からの切り離し作業を予定していたが、作業変更等により屋根等の撤去を行うことになった。屋根上には踏抜き防止のために足場板を敷設するよう準備していたが、被災時には足場板を使わず作業を行っていた。結果屋根木毛板を踏抜き、4m下の床に墜落した。
40	木造2階建て住宅の2階改修工事現場で天井下地組の下地材の打ちつけ工事の為、高さ1.2mの脚立に足場板を掛けて作業している際、バランスを崩して腰より落下した負傷した。
41	木造アパート2階建て建設工事現場において木造軸組構造材を取り付け作業中、作業終了後自分で架けた足場板を使ってロフトの床へ戻ろうとした際、後ろ向きに戻ったため、その際そこに床があると思い体重をかけたが床がなく高さH=2270の足場板より1階ベニア床の上へ右側より墜落し骨折した。安全帯の使用を怠っていた。
42	木造住宅新築工事現場で、内部天井の漆喰塗り作業中、脚立足場板で作った高さ50cm程度の足場上で、移動時に足場板と足場板の重なった部分につまづき、バランスを崩して転倒し、足から着地した。その際、左足小指を骨折した。
43	理容室新築工事において、足場板を下ろす時に手が滑りジャッキと足場板の間に右手が挟まり負傷した。
44	和室小屋裏の遮熱シート貼りの際、脚立足場2脚に足場板を渡してアルミテープを貼る作業において(脚立上段から2段目に足場板を設置、高さ1.73m)足場を踏み外して和室床(板床)に転落し、右大腿部を骨折した。

45	天井補修工事に伴い架設足場を上り足場上部、壁面等へ養生シート敷設作業を開始した。作業が完了したため足場東端開口部から中2階へ下りようと作業員全員が1か所に集まり順番待ちをしていたところ、その足場板に荷重が集中し、それを支えていたパイプのジョイント部が外れた。その際作業員4名は一旦養生シート等を掴んだが、傾いた足場板を滑るように床に置いてある柵上部（高さ約1.5m）に接触の上床に順次落下した。（床から足場までの高さ約7m）
46	塗装工事の現場で地上から1段目の足場板から地上に下りようとして高さ180cm位だったので飛び降りたところ、正面でなく横向きに飛び降りたので自分が立っていたその足場板に左脇をぶつけた
47	擁壁の脱型作業中、擁壁前面に取り付けたままのアンカーボルトに短尺の足場板を乗せその上に乗り型枠材（縦0.1m×横1.5.）を撤去しようとしたところ端に乗ってしまい高さ約4.4mより擁壁伝いに2.6m下の足場板状に滑り落ち、バランスを崩してさらに1.8m下の水路矢端へ落下し左肩及び左頬骨、前頭部から側頭部を強打した。

4 機材センターに関する事例

NO	負傷災害発生状況（平成26年）
1	4 t 積載形トラッククレーンにて資材片付け中、荷台に積載されている荷物上に被災者が立ち別の作業員から足場板を手渡しで受け取っていたところ、バランスを崩して荷台から転落し負傷した。
2	8 t 積載形トラッククレーンで足場資材の納品作業にて、荷台後方に積んである足場板に梱包してある資材の荷降ろしをしようと、荷台後方にハシゴを掛け上り、その足場板に右足を乗せたらバランスを崩し、そのまま後方に転落、腰を地面に強打し、第一腰椎圧迫骨折を負った。
3	アンチ（鋼製足場板）の整理をしていた時、アンチを落下し、左足を負傷した。
4	仮設足場組立中に足場板を敷設する際、Aが誤って渡した敷板を足場板として敷いた後、その板に乗ったところ敷板が折れて1.9m下へ落下転倒し、脳震盪を起こした。
5	作業開始準備のため、トラック荷台（高さ1m位）からアルミの足場板を下ろし、手押しの振動ローラーにエンジンをかけ、振動ローラーを下ろそうとした時に足を滑らせ転倒した。転倒の際足場板に横向きとなり振動ローラーが左足の上に転がって落ちた。
6	資材置き場でトラックから置場に足場板を運ぶ作業をしていたところ、雨で濡れていた地面で足を滑らせて転倒し、足場板と地面の間に左手薬指を挟んで開放骨折した。
7	資材置き場にてトラックに積んである資材（足場板）を降ろす作業中、板の上に居た際、ロープが緩み板がずれ、バランスを崩し、右腕から地面に落下、右腕・肘を負傷した。
8	資材置場にて資材片付け中に足場板が崩れ出し、後から倒れ左手をつき肩を負傷した。
9	足場材の配送作業中、荷台から足場材のパイプ、足場板を下にいる職人に手渡しで降ろしていたところ、右手の肘付近に痛みが走り、負傷した。
10	足場板整備場において、置き場内の足場板を束ねる結束用番線をカッターナイフで切断して検収作業を行っていた際に、安定が悪く15段積み足場板が倒れて来て左親指に当たり、左手親指を打撲した。
11	平坦な場所で足場板を運んでいる時に窪みがあり、その窪みに雪があり気づかずに入ってしまった左足首を負傷した。
12	工場にて足場の整理をしていた際に、高さ1m程の足場板の上でバランスを崩し体を支えようと右手を板についた時に負傷した。
13	資材を積み上げた積載形トラッククレーンの資材の上で、足場板を玉掛けする為に半端の足場板を重ねようと片足を移転したとき、踏み出した足が資材から外れてバランスを崩し、頭部から落下して頭・肩・腰を地面に打ちつけた。